

桂中ソフトテニス部 総体で関東大会出場！

桂中学校ソフトテニス部の3年生、青柳由貴さん、鈴木結衣さんが、総合体育大会において桂中学校初となる関東大会出場を果たしました。

お二人は県内の強豪との厳しい戦いを制し、東茨城地区総合体育大会で優勝、中央地区総合体育大会で第5位、同じく茨城県民総合

大会でも第5位の成績を収め、8月10日東京都府明テニスの森で行われた「第36回関東中学校ソフトテニス大会」に出場。1回戦で向原中学校(東京)と対戦し、4対3で見事関東大会初勝利をあげました。続く2回戦では八街中学校(千葉)に2対4で惜敗し、残念ながら全国大会出場はなりませんでしたが、準優勝した八街中にも前半はリードするなど、日頃の練習以上の力を発揮し、白熱したすばらしい試合を見せてくれました。



関東大会会場で(左から鈴木さん、青柳さん)

新しい芸術表現を体験



アーカスプロジェクト「ヒビノホスピタルアートキャンプ in 城里町」(茨城県主催)が、8月8日、9日にふれあいの里、市内小学校体育館で開催されました。

現代アーティストで東京芸術大学助教授の日比野克彦さんとその研究室生とともに、50名の参加者たちは、1分ごとに出来事や感想をつづる「分記」や水たまりのスケッチなどを行いました。

アートキャンプの目玉は、頭と体を使った芸術体験です。参加者はまずチームごとに、ゴミ袋を使ったユニフォームを作成。そして、自分たちのチームの特徴を見つけ不利な要素を有利に変えて勝利できる、今までにない新しいゲームを考案し対戦しました。例えば小学生の女の子が多いチームは、成人男性との対戦で、身体の柔軟性を競うゲームを考え、見事勝利を収めていました。

お子さんと参加した飯村純子さん(石塚)は「町内で開催されるということで初めて参加してみましたが、工作だけでなくのびのび体を動かすことができ面白かった。他の参加者とも仲良くなり楽しいキャンプができてよかった」と笑顔でした。最後に日比野さんは「芸術はそこにあるものなので創造。工夫しだいで新しいもの、価値観など色々なものが生まれてくる。大人、子ども問わず、日々たくさん工夫してみたい」と話しました。

気をつけよう 慣れた道でも 右左

夏の交通事故防止県民運動(7月20日から8月20日まで)の一環として、8月1日、物産センター山桜で交通安全街頭キャンペーンが実施されました。



笠間警察署や町交通安全対策推進協議会、交通安全協会城里支部、交通安全母の会、常北高校等から約40名が参加。通過するドライバー一人ひとりに、うちわやティッシュ、干し椎茸など啓発物を配布し、「子どもと高齢者の交通事故防止」「飲酒運転、速度超過など無謀運転の追放」「シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底」を呼びかけました。

歩行者横断用旗入器を寄贈

町内の8業者および町外の1業者から、「歩行者横断用旗入器」20基が、城里町交通安全対策協議会に寄贈されました。

今回の寄贈は、交通安全事業に役立てるため、子どもたちが安全に横断歩道を渡れるよう行われたものです。

寄贈を行った各事業所は、次のとおりです。

- 田中製作所(有)/総武石材工業(株)/加藤自動車整備工場
- 海野サイクル/堀口輪業/七会自動車整備工場
- 常北整骨院/アイビーエム(株)/交通安全機器ハビネス



魚つかみ取り大会



7月29日(土) ななかい保育所児童を対象に水辺の楽校で、那珂川漁業組合七会支部及び七会公民館共催による第14回魚のつかみ取り大会が開催されました。

この大会は、魚つかみ取りを体験しながら、子供達に自然豊かな河川の大切さを学ぶことを趣旨とし、約60人の親子が歓声を上げながら、公園内の池に放たれた500匹のマスを追いかけて、素手でのつかみ取りに挑戦しました。つかみ取り大会終了後には、漁業組合の皆さんが塩焼きしたマスを参加者全員で美味しく頂き楽しい一時を過ごしました。

応急手当普及員養成講習会

水戸地区応急手当普及員養成講習会が、8月2日から4日にかけて、コミュニケーションセンター城里研修室で行われました。

家族や友人が突然のケガや病気で倒れ、呼吸や心臓が止まってしまったとき、救急車が到着するまでの間、応急手当をすることが必要となり、尊い命を救う第一歩となります。

町からの参加者を含め約50名の受講者は、自動体外式除細動器(AED)を使った心肺蘇生法や止血法など、救命に必要な応急手当の基礎知識について24時間の講義及び実技の講習を終え、修了証が交付されました。



高く連。ペタンク大会

第1回城里町ペタンク大会町高年者クラブ連合会主催)が、8月1日に常北運動公園で開催されました。ペタンクは、金属製のボールを投げて、木製の目標球(ビュット)との距離を競うフランス生まれの競技です。77チーム、約250名が参加し、力の限りを尽くした真剣なゲームが繰り広げられました。

優勝 巴長生会 小林芳蔵チーム
準優勝 徳蔵長生会 盛田喜美子チーム
第三位 上青山万寿会 桑野光三チーム
努力賞 仲郷明友会 園部文衛門チーム



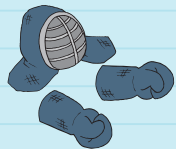
優勝した小林チーム

気合十分！一本勝負

8月6日、「第24回城北ふるさと少年剣道大会」が、町トレーニングセンターと常北中学校体育館を会場に開催されました。

大会には近隣市町村からの参加も含め、67チーム、330名の子どもたちが出場。小学生低学年、高学年、中学生男子、女子の4つの部門に分かれ、白熱した勝負が展開されました。選手たちは、竹刀を交える音と気合の入った声を会場に響かせ、応援に集まった保護者などから、盛んに声援が送られていました。城里町の子どもたちの主な成績は次のとおりです。

- 小学生低学年の部
第3位 城北弘武塾
- 小学生高学年の部
優勝 城里町剣道スポーツ少年団
- 中学生女子の部
第3位 常北中学校



社会を明るくする運動

「第56回社会を明るくする運動」の街頭啓発キャンペーンが、7月29日に石塚駅前通り、道の駅かつら、物産センター山桜で行われました。

この運動は、犯罪防止と罪を犯した人の更生について多くの人に理解してもらうことを目的に毎年強調月間の7月に実施される、法務省主催の全国的な運動です。街頭キャンペーンでは、保護司会や更生保護女性会の皆さん、学校や町関係者などが啓発品を手渡し、運動への理解を呼びかけました。



平成18年度 第1回 家庭教育学級を開催



7月22日(土)にコミュニティセンター城里の研修室で、平成18年度第1回家庭教育学級が開催されました。

今回は、読書をテーマに朗読講座や話し方教室を数多く開講し、ナレーターや司会もこなされる坂本裕功先生に「本を読むことの大切さ」と題してご講演いただきました。

先生は、映像ではなく、本や活字にふれることの大切さや親が子供たちに本を読んでもあげることの大切さについて話されていました。また、後半は、定評のある朗読を聞かせてくださいました。

親子でいっしょに本を読む機会をつくってみてはいかがでしょうか。



「花いっぱい運動コンクール審査」が行われました

7月20日(休)に城里町花いっぱい運動コンクルールの審査会が行われました。66団体が参加し、どの花壇もさまざまな花が色よく咲き誇っていました。地域の部、学校の部の結果は、次のとおりです。

【地域の部】 **最優秀** 下坏三世代交流団体

優秀

上泉楽寿会・錫高野生産クラブ・うぐいすの会・下青山区

【学校の部】 **最優秀**

七会東小

優秀

青山小・小松小・岩船小



審査の様子

『ふるさと発見歴史講座』のご案内

「第18回全国生涯学習フェスティバル まなびピア いばらき2006」記念事業として、「とことん茨城を知る ふるさと発見歴史講座」講演会を開催します。

日時 10月1日(日) 午前10時～11時30分

場所 コミュニティセンター城里 研修室

講演内容 「黒澤止幾の生涯」

講師 杉山 三千雄先生

申込期間 9月26日まで(平日午前9時～午後5時)

申込み・問合せ 教育委員会事務局 生涯学習グループ

☎029-2288-3135

郷土資料館主催『黒澤止幾展—幕末の女傑として、日本初の女教師として—』のご案内



幕末の女傑、日本初の女教師として知られる黒澤止幾が高野村(桂地区錫高野)に生を受けたのは文化3年(1806年)、今年は止幾生誕200周年にあたります。

郷土資料館では、右記講座講師の杉山三千雄先生にご協力いただき、止幾の生涯や功績をパネル・資料で紹介する「黒澤止幾展—幕末の女傑として、日本初の女教師として—」を開催します。たくさんの方のご来場をお待ちしています。

会場・会期 (2会場を巡回)

◎コミュニティセンター城里ロビー

9月27日(水)・10月26日(木)・11月8日(水)・11月14日(火)

◎桂図書館・郷土資料館玄関ホール

11月17日(金)・12月14日(木)

問合せ 郷土資料館 ☎029-2289-4946

生涯学習コーナー